

令和3年度・社会福祉法人普仁会 事業報告

1 法人経営と事業運営等に関する報告（総括）

令和3年度は前年から続くコロナ禍の中、入所者等が安心して生活できる環境と良質なサービス等を提供する施設・法人であることを基本に感染対策の徹底を図りながら介護サービス等に必要の人材の確保や職員の待遇改善、施設の修繕や維持管理、補助事業を活用した機器等の導入、さらには地域貢献活動等の事業推進と7事業所の運営を中心に法人経営を進めてきた。

また、社会福祉法人の制度改正から初めて任期を迎える評議員と2回目となる役員を定款に基づき選任し開かれた社会福祉法人としてガバナンスの強化と円滑な事業運営に努めてきた。

加えて、新型コロナの感染予防策としてワクチンの優先接種を受け6月までに入所者と全職員等へ2回接種し年明け2月には全国的な感染拡大もあり3回目の接種を済ませサービスの提供等に影響を及ぼさないよう努めてきた。さらには、職員の協力のもとこれまで取り組んできた対策等の経験値などから施設の中から感染者を出すことなく概ね順調な施設運営を図ることができた。

一方で、社会福祉法人の責務である地域貢献等に関する多くの事業で2年続けて中止せざるを得ない結果となった。また、人員の確保等においても依然として厳し状況ではあったが、様々な媒体を通した求人募集と共に人材紹介会社の活用を最小限に抑えながらも必要な人員を確保してきたことで法人としては大きな支障もなく安定した経営と事業運営を図ることができた。

2 組織運営等に関する報告

（1）任期満了に伴い選任された役員及び評議員

理 事（6名）	（法人職員外）～ 鈴木 正之（再・理事長）・大野 繁夫（再・常務理事）・鈴木 仁志（新） （法人職員） ～ 渡辺 こづ江（再）・近藤 英治（再）・山田 優喜子（再）
監 事（2名）	竹川 博之（再）・鈴木 康悦（再）
評議員（7名）	遠藤 豊和（再）・河合 一男（再）・黒宮 博（再）・佐藤 好則（再）・杉本 久子（再） 山口 則男（再）・鈴木 恵（新）

（2）理事会の開催

回数	招集月日	開催月日	出席役員	議 題 等
1	5月17日	5月26日	理事6名（全員） 監事2名（全員）	議案2件 ・評議員選任候補者の推薦 ・評議員選任解任委員会委員の選任
2	6月4日	6月14日	理事6名（全員） 監事2名（全員）	議案3件 ・令和2年度事業報告及び決算書類等の承認 ・理事と監事候補者の選定・定時評議員会の招集
3	6月29日	6月29日 定時評議員会後	新理事6名（全員） 新監事2名（全員）	議案2件 ・理事長の選定 ・常務理事の選定
4	10月29日	11月8日	理事6名（全員） 監事2名（全員）	報告2件 ・第1回職務執行状況・第2四半期監査報告 議案2件 ・第1次補正予算 ・第2回評議員会の招集
5	3月8日	3月16日	理事6名（全員） 監事2名（全員）	報告2件 ・第2回職務執行状況・第3四半期監査報告 議案17件・第2次補正予算・令和4年度事業計画 ・令和4年度収支予算 ・職員就業規則・給与規程ほか一部改正3件 ・施設の運営規程の一部改正10件 ・第3回評議員会の招集

(3) 評議員会の開催

回数等	招集月日	開催月日	出席評議員等	議 題 等
1 回 定時 評議員会	6 月 18 日	6 月 29 日	評議員 7 名中 4 名	報告 1 件 ・ 令和 2 年度事業報告 議案 2 件 ・ 令和 2 年度決算に係る計算書類等の承認 ・ 任期満了に伴う理事及び監事の選任
2 回	11 月 16 日	11 月 26 日	評議員 7 名全員	報告 1 件 ・ 令和 3 年度上期事業報告
3 回	3 月 17 日	3 月 25 日	評議員 7 名中 5 名	報告 3 件 ・ 令和 3 年度決算見込 ・ 令和 4 年度事業計画・令和 4 年度収支予算

(4) 監事監査の実施

監査	実施監事	実施月日	監 査 の 項 目 ・ 内 容 等
決算	2 名	5 月 26 日	・ 令和 2 年度の事業報告と決算に伴う計算書類関係及び財産目録関係 ・ 令和 2 年度決算に伴う社会福祉充実残額の確認等
定期	2 名	8 月 4 日	・ 令和 3 年度第 1 四半期の業務執行状況 ・ 令和 3 年度第 1 四半期の資金残高と資金収支執行状況
定期	2 名	10 月 29 日	・ 令和 3 年度第 1 回理事長及び常務理事の職務執行状況 ・ 令和 3 年度第 2 四半期の資金残高と資金収支執行状況 ・ 予算の効率的な執行と費用の削減等（競争入札の推進等）
定期	2 名	3 月 1 日	・ 第 2 回理事長職務執行状況・第 3 四半期資金残高と資金収支執行状況 ・ 新型コロナ緊急包括支援事業の状況等・新型コロナ感染の対応状況

(5) 評議員選任・解任委員会の開催

開催月日	出席委員（5 名全員）	・ 議題～ 任期満了に伴う次期評議員の選任（定款第 6 条）
6 月 4 日	外部委員 2 名・監事 2 名・事務局長	・ 結果～ 推薦のあった次期候補者 7 名を選任（再任 6 名・新任 1 名）

(6) 役員（理事・監事）及び評議員の報酬等

① 役員報酬（報酬規程・年度総額 2,700 千円を超えない範囲）

役 員	令和 3 年度報酬等支給額	摘 要	備 考
理事 6 名	17,871,170 円 うち報酬額 2,400,000 円	・ 月額報酬対応 2 名（支給総額 2,400,000 円） ・ 出席報酬対応 1 名（支給総額なし・受給辞退） ・ 職員給与対応 3 名（支給総額 15,471,170 円）	単価（日額 1 万円） 職員を兼務
監事 2 名	200,000 円	・ 出席報酬対応 2 名（延 10 回）	単価（日額 1 万円）
報酬総額	2,600,000 円		

② 評議員報酬（定款・年度総額 700 千円を超えない範囲）

評議員	令和 3 年度報酬等支給額	摘 要	備 考
7 名	160,000 円	・ 出席報酬対応（評議員会 3 回・出席者延 16 名）	単価（日額 1 万円）

(7) 役員の研修・出張等

監事専門講座研修	監事 2 名受講	・ 1/26～27 全国社会福祉法人経営者協議会（オンライン研修）
----------	----------	-----------------------------------

3 事業運営等に関する報告

(1) 人材の確保と職員の処遇等

① 職員の給与及び助成等

- 定期昇給の実施 ～ 常勤職員の給料の1号俸昇給
- 年間賞与（夏・冬支給）～ 常勤一般 4.3 カ月・常勤限定 3.2 カ月・週 30h 超パート 25 日
- 介護職員処遇改善手当 ～ 月額 2 千円～8 千円（常勤介護職員と週 35h 超パート）
- 介護職員等特定処遇改善手当 ～ 常勤介護職員のうち経験技能職員（月額 19 千円）
他の常勤介護職員（月額 12,700 円）
- 管理職調整手当（介護職以外の管理職）～ 廃止（介護職員等特定処遇改善手当に伴う調整手当）
- 寒冷地手当（11 月～3 月）～ 常勤職員（世帯主 14 千円～24 千円・他 8 千円）
週 35h 超パート（世帯主 14 千円・他 8 千円）
- 地域別最低賃金改定に伴う見直し ～ 最賃を下回るパート時給単価 861 円から 889 円に改定
- 奨学金の貸付（年 60 万円）～ 貸付額 30 万円（帯広大谷短大 1 年生 1 名・後期分から対象）
- 資格取得助成（限度 8 万円）～ 助成額 16 万円（介護職員 2 名・介護福祉士実務者研修受講）
- 介護員再就職支援（資格の有無 8 万～12 万円）～ 支援額 71 万円（対象介護職員 7 名）

② 障がい者の雇用（法定雇用率 2.3%）

- 雇用者の人数 6 名 ～ 常勤職員 1 名 ・パート職員 5 名

③ 職員の退職・採用者数と人材紹介手数料

- 退職者 29 名 ～ 常勤 23 名（相談員 2 名・看護師 4 名・介護員 17 名） ・パート 6 名
- 採用者 27 名 ～ 常勤 20 名（看護師 2 名・介護員 18 名うち新卒 3 名） ・パート 7 名
- 紹介手数料 ～ 対象採用者 8 名（常勤） ・支払額 6,401,543 円（1 人当たり約 80 万円）

④ 職員の永年勤続表彰（15 名）

- 常勤職員 9 名 ～ 勤続 20 年（2 名） ・勤続 10 年（2 名） ・勤続 5 年（5 名）
- パート職員 6 名 ～ 勤続 5 年（6 名）

⑤ 職員福利厚生事業の拡充（常勤職員）

- 地元共済会への加入（5 月）～ 新たに地元「あおぞら共済」へ加入（会費は当面法人負担）
既存の「北海道民間社会福祉事業職員共済会」に加えて加入

⑥ 職員の健康管理等

- 職員健康診断の実施（11 月）～ 全職員を対象に定期健康診断を実施
深夜従事職員（2 回目の健康診断・新型コロナのため中止）
- ストレスチェックの実施（12 月）～ 全職員を対象にストレスチェック診断を実施

(2) 災害に向けた対策等

① 避難訓練等の実施

- 非常用自家発電機の稼働訓練（８月）～ 施設を１時間程度停電し発電機の稼働と施設の状況確認
- 火災等の冬季避難訓練（３月）～ 火災による入所者等の避難誘導訓練

② 非常用食料品等の備蓄保管（入所者と職員３日分）

- 本体施設の備蓄食品（２００人分）
 - ・無洗米 20k ・こまちがゆ缶 800 缶 ・わかめご飯 ・五目ご飯 ・鶏雑炊 ・チキンライス ・カレーセット
 - ・ホキ甘露煮 ・野菜と魚の煮物缶 ・ぶり大根缶 ・ふりかけ ・ツナポテト缶 ・冷凍オムレツ ・鰯かつお煮
 - ・ミキサー食 30 人分 ・飲料水（2ℓ 6 本入）99 箱
 - ・カロリーメイト（職員用）12 ケース ・カレーセット（職員用）180 食
- 西帯広施設の備蓄食品（４４人分）
 - ・アルファ白米 250 食 ・五目ご飯 100 食 ・わかめご飯 100 食 ・ヒートレスカレー 30 食 ・おかゆ 216 缶
 - ・さんまの蒲焼缶 ・鶏肉のうま煮缶 ・和風ハンバーグ ・ふりかけ ・ひじき煮缶 ・サバみそ煮缶 ・鶏そぼろ缶
 - ・つくねと野菜スープ缶 ・味噌汁缶 ・飲料水（2ℓ 6 本入）18 箱 ・カロリーメイト（職員用）6 ケース

(3) 地域における公益的な取組み

① 地域貢献活動のうち新型コロナの影響により中止した事業

- 地域清掃活動（春と秋）～ 本体施設や町内周辺地域の清掃
- 普れ愛夏祭り（７月）～ 花火大会 ・盆踊り ・屋台 ・子供縁日等
- 学習支援事業ふじ小屋（夏休みと冬休み）～ 第八中学校の希望する生徒を対象
- なんもなんもカフェ（毎月開催）～ 本体と西帯広の２カ所で開く認知症カフェ

② 地域貢献活動のうち一部実施した事業

- 介護普及事業（学校訪問授業）～ 第２中学校（１１月） 高校等は新型コロナの影響で中止
- 西帯広地域高齢者買物送迎支援 ～ 実施 14 回 ・参加者延 188 人
買物先（イオン・イトーヨーカドー・ダイイチ白樺店）

(4) 新型コロナウイルスの対応等

① ワクチンの予防接種

- 優先接種の実施 ～ １回目開始（４月） ・２回目終了（６月） ・３回目接種（１月～２月）
- 接種対象者 ～ 入所者（愛仁園 ・普仁園 ・西帯広） ・法人全職員 ・施設内業務委託従事者

② PCR検査等の実施

- 検査対象者等 ～ 新規入所予定者や濃厚接触の職員等を対象にPCR検査や抗原検査を随時実施
- 実施件数等 ～ 新規入所者事前PCR検査等（27 人） ・職員等PCR検査等（108 人）
- 検査等費用 ～ 総額 2,419,990 円 ・帯広市補助 386,100 円 ・法人負担 2,033,890 円
（検査費用 1,741,300 円 ・検査キット 616,000 円 ・その他 62,690 円）

③ 面会等の対策

- リモート対応 ～ 居室等への面会を禁止しタブレットによるリモート面会を実施
- 対面による面会 ～ 感染状況を勘案しながら対応（実施又は中止を判断）
面会室を１階に臨時設置（予約制 ・人数や時間を制限 ・アクリル衝立越し等）

(5) 施設及び事業所の運営等

① 養護老人ホーム 普仁園（特定施設普仁園）・短期入所生活介護施設

● 施設の概要

入所定員等 ～ 養護及び特定（100名） ・短期入所（2名） ・部屋数（個室102室）

介護保険事業者指定有効期限 ～ 特定（R6.9.26）・短期（R8.3.31）・予防短期（R6.3.31）

● 職員数の状況

職 種	前年度 職員数	退 職 (異動)	採 用 (異動)	年度末 職員数	令和4年3月末の配置状況
施設長	1			1	・常勤1名（特定施設管理者兼務）
施設次長	1			1	・常勤1名（主任生活相談員・特定計画作成兼務）
主任生活相談員	(兼務)			(兼務)	(施設次長兼務)
生活相談員	3			3	・常勤3名
特定施設計画作成	(兼務)			(兼務)	(兼務3名～ 施設次長・相談員2)
医務室統括課長	(兼務)			(兼務)	普仁園・愛仁園両施設統括（愛仁園配置）
看護職員	1	1		0	・養護常勤0名（看護師）
	3	(1)		2	・常勤2名（看護師1・准看1）特定担当
看護パート	1			1	・パート1名（准看）特定担当
機能訓練指導員	1			1	・常勤1名（言語聴覚士）特定兼務
栄養士	1			1	・常勤1名（管理栄養士）特定兼務
介護課長	1			1	・常勤1名（介護福祉士） 主任支援員・特定兼務
主任支援員（養護）	(兼務)			(兼務)	(介護課長兼務)
支援員兼介護員	23	2(1)	4(1)	25	・常勤25名（介護福祉士17）養護3名・特定22名
介護パート	9	1		8	・パート8名（介護福祉士3）特定担当
〃（夜勤専門）	2			2	・パート2名（介護福祉士2）特定担当
事務長	1			1	・常勤1名
事務職員	2			2	・常勤2名
技術員（ボイラー）	2			2	・常勤2名（ボイラー技士）
業務スタッフ	5			5	・パート5名（技術員1・売店業務2・相談課補助2）
事務専門員	1	1		0	・パート0名
合 計	58	5(2)	4(1)	56	・常勤40名・パート16名（障害者雇用2名）

● 職員の研修実績

職場内研修 (9回)	介護員・看護師・相談員・事務員 (延120名)	・看取りケア・感染対応・誤薬防止・不適切ケア・認知症対応 ・介護技術向上・虐待防止・緊急時対応・LIFE加算対応 他
十勝管内 (9回)	介護員・相談員・事務員 (延15名)	・ケアマネ更新研修・介護職員初任者研修・リスクマネジメント研修 ・新人フォロー研修・防火管理者講習・安全対策担当者養成研修 他
道 内 (2回)	介護員・相談員 (延3名)	・認知症対応事業管理者研修・介護福祉士実習指導者講習会

● 養護（措置）入所者・特定施設対象者の人数

令和3年度末	自立	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
養護入所者	10 人	8 人	11 人	43 人	14 人	5 人	4 人	5 人	100 人
特定対象者	0	4 人	7 人	39 人	13 人	5 人	3 人	5 人	76 人

● 入所及び退所者の人数（特定施設対象者含む）

入所者 12 名	病院（女性 1 名）	在宅（女性 7 名・男性 3 名）	老健施設等（女性 1 名）
退所者 12 名	長期入院（女性 2 名）	入院死亡（女性 2 名・男性 2 名）	看取り（女性 5 名・男性 1 名）

・入退所のうち特定施設対象者～ 入所者 6 名（女性 4 名・男性 2 名）・退所者 10 名（女性 7 名・男性 3 名）

● 養護の待機者数

令和3年度末	帯 広 市	帯広市外	合 計	うち保留者数
待機者	54 人 (前年度 49 人)	11 人 (前年度末 8 人)	65 人 (前年度 57 人)	23 人 (前年度 22 人)

● 特定施設の稼働実績

年度末対象者 76 人 (うち予防 11 人)	年間稼働延人数 32,607 人	年間平均稼働率 97 %	前年度稼働率 96 %
----------------------------	------------------	--------------	-------------

● 短期入所の利用実績

利用定員 2 人	年間利用延人数 386 人	年間平均利用率 53 %	前年度利用率 44 %
----------	---------------	--------------	-------------

・利用実人数 12 人 ～ 要支援 1（2 人） ・要支援 2（3 人） ・要介護 1（6 人） ・要介護 3（1 人）

● 医療・看護・機能訓練等の対応実績

入院・救急搬送	入院延人数 49 人 (前年度 112 人)	入院延日数 606 日 (前年度 903 日)	救急車要請 9 件 (前年度 10 件)
夜間の対応	夜間対応件数 22 件	口頭指示件数 15 件	・看護師出勤件数 7 件
個別機能訓練	実施延人数 6,059 人	言語聴覚士（H30.10 専任配置）	

● 嘱託医の配置

配置医師	・おがわ循環器内科クリニック院長 小川 崇徳	・回診（毎週月曜日）
------	------------------------	------------

● 事故等の件数

主な要因／事故内容	転倒転落等	皮膚剥離・変色	誤薬・服薬管理等	異食・誤嚥	その他
入所者自らによるもの	140 件	2 件	1 件		4 件
職員の不注意等によるもの	3 件	6 件	12 件		
その他不明等	3 件	2 件			1 件
(合計 174 件)	146 件	10 件	13 件	0	5 件

- ・事故内容 ～ 転倒転落等（歩行中の転倒や尻もち・ベッドや車いすからのすり落ち・入所者が押し倒す等）
 皮膚剥離変色等（介助中に入所者の手足を物などに接触）
 誤薬・服薬管理等（服薬ミス・下剤の重複等）
 その他（他の入所者を叩く・居室から脱出・通院中に行方不明等）

● 事故報告の件数（十勝総合振興局・帯広市報告）

報告件数 8 件	・入院等 4 件 ～ 室内で転倒骨折（3 件） ・廊下で転倒裂傷（1 件・受診経過観察） ・その他 4 件 ～ 服薬ミス（2 件） ・居室からの脱出（1 件） ・行方不明（1 件）
----------	---

● 苦情の受付件数 ～ なし

● 事故・ヒヤリハット・苦情件数の推移

年度別件数	令和3年度	令和2年度	令和1年度	平成30年度
事 故	174 件	163 件	203 件	174 件
ヒヤリハット	56 件	75 件	58 件	83 件
苦情受付	0 件	0 件	0 件	0 件

● 実習生・ボランティア等の受入実績

実習生等	・相談援助演習（名寄市立大学 2 名） ・職場体験学習（八千代中学校 1 名）
ボランティア	・パーマ毛染（美容師 1 名）

● 行事等の実績

外出行事	・花見ドライブ（市内）65 名 ・紅葉ドライブ（新嵐山スカイパーク）50 名
園内行事	・流しソーメン 70 名・ビアガーデン 25 名・花火見物 70 名・味覚祭 70 名 ・お楽しみ会（毎月・全員）・節分豆まき・収穫祭・年輪を祝う会・運動会・餅つき・年忘れ（全員） ・クッキングクラブ 25 名・焼肉 70 名・魚まつり 70 名・鏡開き（全員）

● 広報誌の発行 ～ 普仁園広報誌「普仁さん」 年 2 回発行

● 食事（給食）の提供

利用者の嗜好調査や残食状況を踏まえより良い食事の提供に努めると共に四季折々の行事にあわせ食事に変化と潤いを持たせた。

- ・年間給食数 ～ 108,480 食（朝食・昼食・夕食）
- ・入所者 106,790 食 ・短期入所者 980 食 ・検食等 710 食

- ・年間行事食（38回）～ 祝日行事 13 回 （稲荷寿司・ちらし寿司・刺身ほか）
- 年輪を祝う会 1 回 （寿司・茶碗蒸し・黒豆煮ほか）
- 年忘れ会 1 回 （いくら丼・茶碗蒸し・南瓜いとこ煮ほか）
- リクエスト給食 20 回 （さいころステーキ・オムライス・マグロ丼ほか）
- 食事委員会行事 3 回 （稲荷寿司・マグロ山掛け・刺身ほか）

・食事の形態（年度末現在）

主 食	ご飯 63 人	お粥 28 人	粥ミキサー 2 人	スベラカーゼ 3 人	おにぎり 1 人	麺 1 人
副 食	常食 66 人	大キザミ 15 人	キザミ 12 人	ミキサー 5 人		

・主な食糧構成と栄養量等（1 日当たり）

食糧構成	米・麦	パン類	麺類	緑黄野菜	淡色野菜	魚介類	肉類	果実類
平均摂取量	153.1 g	3.7 g	26.1 g	155.9 g	186.7 g	87.2 g	59.4 g	57.6 g
摂取目標量	154.0 g	5.0 g	27.0 g	155.0 g	200.0 g	85.0 g	60.0 g	60.0 g

栄養構成	エネルギー	タンパク質	脂 質	炭水化物	食物繊維	食 塩
平均摂取量	1,440 kcal	61.6 g	36.5 g	210.1 g	18.3 g	8.3 g
摂取目標量	1,360 kcal	45～68 g	30～45 g	170～221 g	18 g	1.5～7.5 g

② 特別養護老人ホーム 愛仁園（短期入所生活介護施設）

● 施設の概要

入所定員 ～ 特養（100 名） ・ 短期入所（18 名）

部屋数 ～ 個室 30 室 ・ 2 人部屋 28 室うち間仕切り仕様 6 室 ・ 4 人部屋 8 室

介護保険事業者指定有効期限 ～ 特養・短期（R8.3.31） ・ 予防短期（R6.3.31）

● 職員数の状況

職 種	前年度 職員数	退職 （異動）	採用数 （異動）	年度末 職員数	令和4年3月末の配置状況
施設長	1			1	・ 常勤 1 名 あいじえん西帯広施設長兼務
施設次長	1			1	・ 常勤 1 名 介護支援専門員兼務
生活相談課長	1			1	・ 常勤 1 名 介護支援専門員専任
生活相談員	3	1		2	・ 常勤 2 名 介護支援専門員兼務
介護支援専門員	(1) (4)	(1)		(1) (3)	(常勤専任 1 名・生活相談課長) (兼務 3 名～ 介護課主任 1・相談員 2)
医務室統括課長	1			1	・ 常勤 1 名（看護師） 養護・特養両施設統括
看護職員	4	3	2	3	・ 常勤 3 名（看護師 1・准看 2）
看護パート	0		(1)	1	・ パート 1 名（准看）
看護業務補助員	1			1	・ 常勤 1 名
機能訓練指導員	1			1	・ 常勤 1 名（准看護師） あいじえん西帯広兼務
栄養士	1			1	・ 常勤 1 名（管理栄養士） あいじえん西帯広兼務
介護課長	1			1	・ 常勤 1 名（介護福祉士）
介護職員	40	10 (4)	10 (4)	40	・ 常勤 40 名（介護福祉士 25）
介護パート	9	2	2	9	・ パート 9 名（介護福祉士 3）
// （夜勤専門）	3	1	1	3	・ パート 3 名（介護福祉士 2）
// （食事補助）	3			3	・ パート 3 名（介護福祉士 1）
事務職員	2			2	・ 常勤 2 名
技術員（ボイラー）	1			1	・ 常勤 1 名（ボイラー技士）
業務スタッフ	1			1	・ パート 1 名
合 計	74	17 (4)	15 (5)	73	・ 常勤 56 名・パート 17 名 （障害者雇用 1 名）

● 職員の研修実績

職場内研修 （7回）	介護員・看護師・相談員（延 155 名）	・ 虐待防止・認知症ケア・身体拘束廃止・リスクマネジメント ・ 看取り・緊急時対応・新人職員研修 他
十勝管内 （3回）	（集合研修実施） 介護員（延 5 名）	・ 新任介護職員研修 ・ 介護職員専門研修Ⅰ ・ エルダーメンター制度導入支援研修
Web 研修 （7回）	施設長・次長・相談員・介護員・総務課 （延 11 名）	・ 全国老人福祉施設大会・安全対策担当者研修・ハラスメント防止研修 ・ メンタルヘルス研修 他

● 入所者の人数

令和3年度末	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計	平均介護度
男 性	0	0	6 人	8 人	6 人	20 人	4.0
女 性	0	1 人	9 人	39 人	27 人	76 人	4.2
合 計	0	1 人	15 人	47 人	33 人	96 人	4.16

● 入所及び退所者の人数

入所者 39 名	在 宅 ・女性3名・男性1名	グループホーム ・女性5名・男性3名	老人保健施設 ・女性12名・男性6名	病院・その他 ・女性4名・男性5名
退所者 38 名	長期入院 女性5名・男性4名	入院中死亡 女性5名・男性3名	施設内看取り 女性13名・男性8名	

● 入所申込の人数

令和3年度末	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	支援認定切れ	合 計
申込人数 (前年度末)	7 人 (6人)	13 人 (10人)	83 人 (77人)	64 人 (81人)	51 人 (45人)	0 (0)	218 人 (219人)

● 入所者の稼働実績

定員 100 人	年間稼働延人数 35,146 人	年間平均稼働率 96 %	前年度稼働率 98 %
----------	------------------	--------------	-------------

● 短期入所の利用実績

定員 18 人	年間利用延人数 4,122 人	年間平均利用率 63 %	前年度利用率 65 %
実利用者 353 人	・要支援1(24人)・要支援2(5人) ・要介護1(61人)・要介護2(81人)・要介護3(100人)・要介護4(58人)・要介護5(24人)		

● 医療・看護・機能訓練等の対応実績

入院・救急搬送状況	入院延人数 61 人 (前年度 61 人)	入院延日数 736 日 (前年度 681 日)	救急車要請 16 件 (前年度 42 件)
夜間対応状況	夜間対応件数 42 件	・口頭指示件数 24件 ・看護師出勤件数 18件	
個別機能訓練状況	実施延人数 5,172 人	准看護師（専任配置）	
喀痰吸引対応状況	認定特定行為業務従事者による実施人数 ・口腔 1人 ・鼻腔 1人		

・新型コロナウイルス感染拡大のため令和3年度認定特定行為従事者の養成(演習指導)中止

● 嘱託医の配置

配置医師	・さかい総合内科クリニック院長 酒井 俊	・回診(毎週木曜日)
------	----------------------	------------

● 事故等の件数

主な要因／事故内容	転倒転落等	皮膚変色等	誤薬・服薬管理等	異食・誤嚥	その他
入所者自らによるもの	48 件	108 件		4 件	3 件
職員の不注意等によるもの	23 件	51 件	4 件	1 件	5 件
その他不明等					2 件
(合計 249 件)	71 件	159 件	4 件	5 件	10 件

- ・事故内容 ～ 転倒転落等（歩行中転倒・ベッドや車いすから転落等）
皮膚変色等（手や足のアザ等）
誤薬・服薬管理等（取違い等の服薬ミス・飲ませ忘れ等）
その他（原因不明の骨折・インフルエンザワクチンの重複接種等）

● 事故の報告（十勝総合振興局・帯広市報告）

報告件数 11 件	・入院等 7 件 ～ 転倒による骨折や原因不明等の骨折（6 件）・ベッドから転落打撲（1 件） ・その他 4 件 ～ 薬の取り違い（2 件）・服薬忘れ（1 件）・ワクチンの重複接種（1 件）
-----------	--

● 苦情の受付件数 ～ なし

● 事故・ヒヤリハット・苦情件数の推移

年度別件数	令和3年度	令和2年度	令和1年度	平成30年度
事 故	249 件	213 件	204 件	265 件
ヒヤリハット	160 件	145 件	140 件	185 件
苦情受付	0 件	1 件	0 件	0 件

● 実習生・ボランティア等の受入実績

実習生等	・介護技術研修（教員研修・道立剣淵高校教諭2名）・介護実習（帯広コア専門学校4名）
ボランティア	（新型コロナウイルス感染予防のため受入中止）

● 行事等の実績

外出行事	・ドライブ（短時間・4 回） 他の外出行事は新型コロナの影響により見合わせ
園内行事	（入所者全員参加行事）・夏祭り・母の日父の日・普れ愛家族デイ・クリスマス会・年忘れ会・節分 ・ひな祭り・行事食 ・全体レク6 回（各 80 名）・グループ行事7 回（各 30 名）・百歳誕生日1 回（30 名）

● 広報誌の発行 ～ 愛仁園広報誌「あいあい通信」 年2回発行

入所者の栄養ケアマネジメントに基づきより良い食事の提供に努め入所者の接種能力や状況に応じた対応ができるように努めた。

- ・食事の形態（年度末現在）

主 食	ご飯 28人・おにぎり 3人	お粥 45人	スベラカーゼ粥 7人	ミキサー粥 5人	麺 1人	経管栄養
副 食	常食 15人	大キザミ 20人	キザミ 38人	ミキサー 16人		7人

食糧構成	米・麦	パン類	麺類	緑黄野菜	淡色野菜	魚介類	肉類	果実類
平均摂取量	153.4 g	3.6 g	26.1 g	156.1 g	186.7 g	86.8 g	59.5 g	58.3 g
摂取目標量	143.0 g	5.0 g	27.0 g	155.0 g	200.0 g	85.0 g	60.0 g	60.0 g

栄養構成	エネルギー	タンパク質	脂 質	炭水化物	食物繊維	食 塩
平均摂取量	1,439 kcal	61.5 g	36.4 g	210.3 g	18.3 g	8.3 g
摂取目標量	1,360 kcal	45～68 g	30～45 g	170～221 g	18.0 g	1.5～7.5 g

③ デイサービスセンター 愛仁園

● 施設の概要

利用定員等 ～ 定員（1日35名） ・営業日（12月31日～1月3日を除く毎日）

サービス提供時間 ～ 6時間5分（9：45～15：50・延長可）

介護保険事業者指定有効期限 ～ 通所介護（R8.3.31）

介護予防日常生活支援総合事業（R8.3.31）

● 職員数の状況

職 種	前年度 職員数	退職 (異動)	採用 (異動)	年度末 職員数	令和4年3月末の配置状況
管理者	1			1	・常勤1名 生活相談員兼務
生活相談員	1	1		0	・常勤0名（3/31退職）
// (兼務)	(2)			(2)	(兼務2名～ 管理者・介護員)
看護職員	1			1	・常勤1名（准看）
看護パート	0		2	2	・パート2名（看護師1・准看1）
機能訓練指導員	(2)			(3)	(看護職員兼務3名)
介護職員	8	2(1)	(2)	7	・常勤7名（介護福祉士6・うち相談員兼務1名）
介護パート	4		2	6	・パート6名（介護福祉士1）
合 計	15	3(1)	4(2)	17	・常勤9名・パート8名 (障害者雇用1名)

● 職員の研修実績

職場内 (11回)	管理者・相談員・看護師・介護員 (延44名)	・虐待防止・身体拘束防止 他
管内・道内	(なし)	

● サービスの利用実績

利用定員	営業日数	帯広市総合事業		通所介護		利用延人数	稼働率	前年度 稼働率
		実人数	延人数	実人数	延人数			
35人	358日	531人	3,105人	843人	6,998人	10,103人	81%	81%

・営業日数365日のうち休業7日 ～ 通常休業4日（年末年始12/31～1/3）

臨時休業3日（大雪1/12・利用者1名コロナ陽性3/6～7）

● 利用者の状況

年度末	総合事業	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計
契約者数	1人	20人	32人	43人	22人	9人	0	1人	128人

● 体験利用の実績人数

総合事業	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中	合 計
3人	11人	17人	16人	4人	2人	1人	0	9人	63人

● 事故等の件数

主な要因／事故内容	転倒転落等	皮膚変色等	誤薬・服薬	異食・誤嚥	送迎・車両	その他
入所者自らによるもの	2 件					
職員の不注意等によるもの	1 件		1 件			2 件
その他不明等						
(合計 6 件)	3 件	0	1 件	0	0	2 件

- ・事故内容 ～ 転倒転落等（歩行中転倒・椅子からの転落等） ・誤薬・服薬（薬の飲ませ忘れ）
 ・その他（入浴時の補聴器の外し忘れ等）

● 事故の報告（十勝総合振興局・帯広市報告） ～ なし

● 苦情の受付件数 ～ なし

● 事故・ヒヤリハット・苦情件数の推移

年度別件数	令和3年度	令和2年度	令和1年度	平成30年度
事 故	6 件	7 件	16 件	22 件
ヒヤリハット	2 件	2 件	15 件	38 件
苦情受付	0 件	0 件	0 件	0 件

● 実習生・ボランティア等の受入実績

実習生等	・帯広看護専門学校 29 名
ボランティア	（新型コロナウイルス感染予防のため受入中止）

● 行事等の実績

外出行事	・花見ドライブ 139 名 ・初夏のドライブ 27 名
園内行事	・運動会 79 名 ・夏祭り 79 名 ・敬老会 85 名 ・お楽しみ会 85 名 ・節分 58 名

● 食事（給食）の提供

- ・年間給食数（昼食のみ提供） ～ 利用者 10,256 食

④ 地域密着型介護老人福祉施設 あいじえん西帯広

● 施設の概要

入所定員等 ～ 定員（ユニット型 29 名） ・ 部屋数（3 ユニット・個室 29 室）

介護保険事業者指定有効期限（R8.3.16） ・ 事業開始（H26.3.20）

● 職員数の状況

職 種	前年度 職員数	退職 （異動）	採用 （異動）	年度末 職員数	令和4年3月末の配置状況
施設長	（兼務）			（兼務）	（特別養護老人ホーム愛仁園施設長）
管理者	1			1	・ 常勤 1 名 介護支援専門員兼務 小規模多機能型居宅介護管理者兼務
副管理者	0			0	（未配置）
生活相談員	1			1	・ 常勤 1 名（介護支援専門員）
介護支援専門員	（2）			（2）	（兼務 2 名～ 管理者・生活相談員）
看護職員	2			2	・ 常勤 2 名（看護師 2）
機能訓練指導員	（兼務）			（兼務）	（特別養護老人ホーム愛仁園機能訓練指導員）
管理栄養士	（兼務）			（兼務）	（特別養護老人ホーム愛仁園管理栄養士）
介護主幹	1	2（1）	3	1	・ 常勤 1 名（介護福祉士）
介護職員	15			15	・ 常勤 15 名（介護福祉士 12）
介護パート	2			2	・ パート 2 名（介護福祉士 1 名）
事務補助員	1			1	・ パート 1 名
合 計	23	2（1）	3	23	・ 常勤 20 名・パート 3 名

● 職員の研修実績

職場内 （17 回）	施設職員 ・ 延 188 名	虐待防止・身体拘束・感染症・ゾーニング訓練・ハラスメント研修 他
道内・管内 （21 回）	施設職員 ・ 延 30 名	ユニット管理者研修・ユニットリーダー資格取得研修 ・ 安全衛生研修・専門職種研修・感染症研修 他

● 介護度別の入所者数

年度末現在 入所者数	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合 計	平均介護度	前年介護度
	0 人	0 人	9 人	10 人	9 人	28 人	4.0	4.2

● 入所及び退所者の人数

入所者	8 名	・ 在宅 1 名 ・ 老人保健施設 2 名 ・ グループホーム 1 名 ・ 特定施設 1 名 ・ 病院 3 名
退所者	9 名	・ 施設看取り 6 名 ・ 退院見込みなし 1 名 ・ 入院中死去 2 名

● 待機者の人数

年度末現在	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計
待機者 (前年度)	2 人 (0人)	4 人 (0人)	22 人 (14人)	10 人 (14人)	7 人 (7人)	45 人 (35人)

● 入所者の稼働実績

定員 29人	年間稼働延人数 10,412 人	年間平均稼働率 98 %	前年度稼働率 98 %
--------	------------------	--------------	-------------

● 医療・看護等の対応実績

入院・救急搬送状況	入院延人数 11 人 (前年度 12 人)	入院延日数 323 日 (前年度 210 日)	救急車要請 5 件 (前年度 2 件)
夜間対応状況	夜間対応件数 33 件	・口頭指示件数 17 件	・看護師出勤件数 16 件

● 嘱託医の配置

配置医師	・帯広西病院 岩永 健志 医師	・回診(月2回)
------	-----------------	----------

● 事故等の件数

主な要因／事故内容	転倒転落等	皮膚変色等	誤薬・服薬管理等	異食・誤嚥	その他
入所者自らによるもの	24 件		1 件	1 件	
職員の不注意等によるもの	1 件		10 件		
その他不明等					1 件
(合計 38 件)	25 件	0	11 件	1 件	1 件

・事故内容 ～ 転倒転落等(歩行中転倒・ベッドや車いすから転落等) ・異食・誤嚥(義歯の誤飲)
誤薬等(服薬忘れ・重複服用等) ・その他(原因不明な骨折)

● 事故報告の件数(帯広市報告)

報告件数 3 件	・入院 1件 ～ 原因不明による骨折 ・その他2件 ～ 義歯の誤飲(職員により除去) ・頓服薬の重複服用(経過観察)
----------	---

● 苦情の受付件数 ～ なし

● 事故・ヒヤリハット・苦情件数の推移

年度別件数	令和3年度	令和2年度	令和1年度	平成30年度
事 故	38 件	23 件	42 件	39 件
ヒヤリハット	321 件	360 件	296 件	166 件
苦情受付	0 件	0 件	0 件	0 件

● 運営推進会議・行事・地域交流等の実績

- ・運営推進会議（小規模多機能あもる・合同開催） ～ 年間 6 回開催（隔月）
（構成員 6 名 ・民生委員・町内会・地域包括支援センター・施設職員）
- ・買物送迎支援（年間 14 回） ～ 参加者延 188 名（引率職員延 30 名）
- ・町内会合同夏祭り等（新型コロナウイルスの影響により中止）

● 食事（給食）の提供

利用者の嗜好調査や残食の状況調査を踏まえバリエーション豊富な食事の提供に努めた。

- ・年間給食数 ～ 31,049 食（朝食・昼食・夕食） ・入所者 29,957 食 ・検食等 1,092 食

- ・年間行事食（13 回） ～ 祝日行事 （赤飯・ちらし寿司・混ぜご飯・おはぎ ほか）

- ・食事の形態（年度末現在）

主 食	ご飯 11 人	お粥 15 人	ミキサー粥 0 人	スベラカーゼ粥 1 人
副 食	常食 12 人	大キザミ 3 人	キザミ 7 人	ミキサー 5 人

- ・主な食糧構成と栄養量等（1 日当たり）

食糧構成	米・麦	パン類	麺類	緑黄野菜	淡色野菜	魚介類	肉類	果実類
平均摂取量	150.6g	5.5g	20.1g	175.9g	183.0g	77.7g	65.0g	47.2g
摂取目標量	153.0g	5.0g	21.0g	155.0g	200.0g	80.0g	62.0g	50.0g

栄養構成	エネルギー	タンパク質	脂 質	炭水化物	食物繊維	食 塩
平均摂取量	1,398 kcal	61.3g	34.6g	205.4g	18.1g	7.9g
摂取目標量	1,360 kcal	45～68g	30～45g	170～221g	18.0g	1.5～7.5g

⑤ 小規模多機能型居宅介護 あもる

● 施設の概要

利用定員時間等 ～ 登録定員（25名） ・通いサービス（1日15名 9:00～17:00）
 ・宿泊サービス（1日 9名 17:00～9:00）
 ・訪問サービス（24時間）
 介護保険事業者指定有効期限（R8.3.16） ・事業開始（H26.3.20）

● 職員数の状況

職 種	前年度 職員数	退職 (異動)	採用 (異動)	年度末 職員数	令和4年3月末の配置状況
代表者	(兼務)			(兼務)	(特別養護老人ホーム愛仁園施設長)
管理者	(兼務)			(兼務)	(地域密着型あいじえん西帯広管理者)
副管理者	1			1	・常勤1名 介護支援専門員兼務
介護支援専門員	(1)			(1)	(副管理者兼務)
看護職員	1			1	・常勤1名(准看)
看護パート	1			1	・パート1名(准看)
介護職員	8	1(1)	1(1)	8	・常勤8名(介護福祉士6)
介護パート	3	1		2	・パート2名(介護福祉士2)
合 計	14	2(1)	1(1)	13	・常勤10名・パート3名

● 職員の研修実績

職場内 (12回)	施設職員 ・延46名	虐待防止・身体拘束・感染症・認知症研修 他
道内・管内 (9回)	施設職員 ・延12名	専門職種研修・ケアマネジメント研修 ・リスクマネジメント研修・ストレスマネジメント研修 他

● 登録者の介護度別人数

介護度	要支援1	要支援2	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	合 計
年度当初	1人	1人	12人	9人	0	2人	0	25人
年度末	2人	0	9人	9人	1人	1人	1人	23人

● 登録者の開始・終了人数

月 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
利用開始	0	1	2	0	0	2	0	0	1	1	0	3	10人
利用終了	1	1	2	0	0	2	0	1	1	3	1	1	13人

● サービス別の利用実績

サービス区分	通い(定員15人)	宿泊(定員9人)	訪 問	合 計
利用延人数	延 4,062人	延 1,613人	延 3,174人	延 8,849人
平均利用者/日 (前年度)	11.1人/日 (9.8人/日)	4.4人/日 (3.8人/日)	8.7人/日 (3.4人/日)	24.2人/日 (17.0人/日)

● 事故等の件数

主な要因／事故内容	転倒転落等	皮膚変色等	誤薬・服薬管理等	異食・誤嚥	その他
入所者自らによるもの	8 件	1 件	1 件		
職員の不注意等によるもの	2 件	2 件	6 件		
その他不明等					
(合計 20 件)	10 件	3 件	7 件	0	0

・事故内容 ～ 転倒転落等（歩行中転倒・ベッドや車いすから転落等）

皮膚変色等（湿布等による剥離・裂傷・介助時の変色） ・誤薬等（服薬忘れ・重複服用）

● 事故報告の件数（帯広市）

報告件数 6 件	<p>・入院等2件 ～ 転倒による左大腿骨頸部骨折（入院）・入浴介助中に転倒（受診経過観察）</p> <p>・その他4件 ～ 夕食薬と朝食薬の取り違い ・翌日分の薬を重複服用 ・薬を落とし紛失</p> <p>訪問サービスによる服薬介助を訪問日忘れのため提供できず</p>
----------	---

● 苦情の受付件数 ～ なし

● 事故・ヒヤリハット・苦情件数の推移

年度別件数	令和3年度	令和2年度	令和1年度	平成30年度
事 故	20 件	15 件	13 件	43 件
ヒヤリハット	20 件	9 件	17 件	5 件
苦情受付	0 件	0 件	0 件	0 件

● 運営推進会議・行事・地域交流等の実績

・運営推進会議（地域密着型あいじえん西帯広・合同開催） ～ 年間6回開催（隔月）

（構成員6名 ・民生委員・町内会・地域包括支援センター・施設職員）

・町内会合同夏祭り等（新型コロナウイルスの影響により中止）

● 食事（給食）の提供

・年間給食数 ～ 利用者 7,724 食（朝食・昼食・夕食 あいじえん西帯広とメニュー等共通）

⑥ 居宅介護支援事業所 愛仁園

● 事業所の概要

事業開始（平成 12 年 4 月） ・ 介護保険事業者指定有効期限（R8.3.31）

● 職員数の状況

職 種	前年度 職員数	退職 （異動）	採用 （異動）	年度末 職員数	令和4年3月末の配置状況
管理者	1			1	・ 常勤 1 名（主任介護支援専門員）
専門職員	2			2	・ 常勤 2 名（主任介護支援専門員 2）
合 計	3			3	・ 常勤 3 名

● 職員の研修実績

職員・延 43 名	市内等 22 回	・ 主任ケアマネ研修・介護支援専門員研修・地域ケア会議・地域包括勉強会 他
-----------	----------	---------------------------------------

● 居宅介護支援の件数

支援計画	新規件数	終了件数	年間支援件数	介護支援費請求件数	職員 1 人当たり件数
令和3年度	45 件	37 件	1,392 件 （うち予防 22 件）	1,239 件 （月平均 103 件）	・ 支援（39 件/月） ・ 請求（34 件/月）
前年度	35 件	37 件	1,361 件 （うち予防 23 件）	1,222.5 件 （月平均 102 件）	・ 支援（38 件/月） ・ 請求（34 件/月）

・ 年間支援件数のカッコは予防プラン受託件数（請求件数への算入は 0.5 件扱い）

● 主な居宅サービスの利用実績

サービス	通所介護（うち愛仁園）	短期入所（うち愛・普仁園）	福祉用具レンタル	訪問介護	訪問看護
令和3年度	745 件（325 件・43.6%）	98 件（61 件・62.2%）	584 件	410 件	116 件
前年度	677 件（313 件・46.2%）	89 件（62 件・69.7%）	602 件	471 件	140 件

特定事業所集中減算	・ 該当なし （同一事業所へ 80%を超えて集中した場合に該当）
-----------	----------------------------------

● 他事業所との連携

事例検討会等の開催	・ 共同開催の実施 1 回（6 月）
共同実施事業所 （3 事業所）	・ 帯広けいせい苑居宅介護支援事業所はるか ・ 居宅介護支援センター太陽園 ・ 帯広至心寮居宅介護支援センター

・ 新型コロナウイルス感染拡大予防のため各事業所でケース事例を検討し事例提供者へフィードバック形式で実施

● 委託業務の受託実績

要介護認定調査業務（3 件）	・ 音更町 1 件 ・ 札幌市 2 件
介護認定申請代行業務（67 件）	・ 第 1 四半期 20 件 ・ 第 2 四半期 13 件 ・ 第 3 四半期 20 件 ・ 第 4 四半期 14 件

⑦ 地域包括支援センター 愛仁園（介護予防支援事業所愛仁園）

● 事業所の概要

センターの開設 ～ 平成 18 年 4 月 ・担当圏域（広陽・若葉地区と関西・西帯広地区）

介護保険事業者指定有効期限 ～ 介護予防支援事業所（R6.3.31）

● 職員数の状況

職 種	前年度 職員数	退職 （異動）	採用 （異動）	年度末 職員数	令和4年3月末の配置状況
センター長	1			1	・常勤 1 名（保健師） 介護予防支援事業所管理者兼務
副センター長	1			1	・常勤 1 名（主任介護支援専門員） 介護予防支援事業所副管理者兼務
専門職員	8			8	・常勤 8 名 ～ 保健師 1 名・社会福祉士 3 名 主任介護支援専門員 2 名 介護支援専門員 2 名 （介護予防支援事業所兼務・8 名全員）
認知症地域支援 推進員	1			1	・常勤専任 1 名（精神保健福祉士）
地域支え合い推進員	(1)			(1)	（包括専門職員 1 名兼務）
事務補助員	1			1	・パート 1 名
合 計	12			12	・常勤 11 名・パート 1 名 （障害者雇用 2 名）

● 職員の研修実績

内部研修 11 回	延 114 人	・基本の認知症ケア研修 ・成年後見制度研修 他
外部研修 41 回 （ZOOM・WEB）	延 80 人	・認知症地域支援推進員新任者研修・2021 年度社会福祉士実習指導者講習会 他

● 総合相談支援業務

総合相談件数	センター来所	電 話	その他（メール等）	（前年度 836 件）
744 件	39 件	684 件	21 件	

・相談者の内訳及び内容

本 人	介護者（家族等）	医療機関等	ケアマネジャー	市役所等公的機関	その他
95 件 （13 %）	351 件 （47 %）	98 件 （13 %）	72 件 （10 %）	53 件 （7 %）	75 件 （10 %）

・支援の内容（重複）～ 介護保険制度 2,384 件・介護予防 282 件・保健福祉サービス 234 件
医療健康 620 件・地域資源 171 件・認知症 413 件・虐待権利擁護 96 件
入所等住まいの相談 238 件・その他 213 件 （合計 4,651 件）

● ひとり暮らし登録の対応件数

新規登録者の訪問	28 件	継続登録者の訪問	463 件	対応件数合計	491 件
----------	------	----------	-------	--------	-------

・ひとり暮らし登録者の訪問活動件数（重複）

ヤクルト安否確認	高齢者福祉サービス関連	定期訪問	その他	合 計	うち緊急搬送
60 件	27 件	393 件	5 件	485 件	2 件

● 権利擁護業務

権利擁護相談	虐待相談 43 件 (前年度 21 件)	成年後見相談 6 件 (前年度 25 件)	消費者被害相談 1 件 (前年度 2 件)	合 計 50 件 (前年度 48 件)
--------	-------------------------	--------------------------	--------------------------	------------------------

・虐待相談の内容（重複）

身体的虐待 47 件 (前年度 23 件)	経済的虐待 9 件 (前年度 9 件)	精神的虐待 16 件 (前年度 10 件)	性的虐待 0 件 (前年度 0 件)	介護放棄 42 件 (前年度 11 件)
--------------------------	------------------------	--------------------------	-----------------------	-------------------------

・虐待相談の対応方法（重複）

情報収集 20 件 (前年度 31 件)	家庭訪問 17 件 (前年度 28 件)	カンファレンス等 13 件 (前年度 23 件)	関係機関連携 56 件 (前年度 89 件)	その他 5 件 (前年度 37 件)
-------------------------	-------------------------	-----------------------------	---------------------------	-----------------------

・対応困難事例（内容重複）

対応困難世帯 296 世帯	<ul style="list-style-type: none"> ・本人や家族に精神障害や知的障害がある（147 件） ・虐待（13 件） ・独居等で限界（35 件） ・必要なサービスを拒否（62 件） ・問題行動が伴う認知症（73 件） ・本人の意思決定が困難で変わる決定人がいない（34 件） ・近所とのトラブル（69 件）等
------------------	--

・困難事例の対応（重複）

情報収集 86 件	家庭訪問 81 件	カンファレンス等 10 件	関係機関連携 107 件	その他 35 件
-----------	-----------	---------------	--------------	----------

・高齢者虐待防止研修の開催実績

普仁会職員 1 回（28 人）	市内ケアマネジャー 1 回（10 人）	市広市民 1 回（34 人）
-----------------	---------------------	----------------

● 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

・ケアマネジャーの支援件数

助 言 等 18 件	同伴訪問 18 件	カンファレンス等 4 件	ケアマネジャー研修 11 回（延 96 人）	ケアマネジメント支援会議 事例検討会 11 回（延 136 人）
---------------	--------------	-----------------	---------------------------	-------------------------------------

・地域ケア会議の開催実績

個別ケア会議 3 回（参加者延 30 人）	ケアマネジメント支援会議 12 回（参加者延 157 人）
-----------------------	-------------------------------

● 介護予防ケアマネジメント業務

・介護予防サービス計画の作成件数

介護予防・日常生活支援総合事業	介護予防支援事業	合 計
3,517件（うち委託530件） 月平均 293 件	3,488件（うち委託680件） 月平均 290 件	7,005件（うち委託1,210件） 月平均 583 件

・前年度件数 6,618 件（月平均 552 件）

● 生活支援コーディネート業務

・帯広市の委託事業による地域支え合い推進員との連携推進

<p>地域支え合い推進員 1 名 （包括職員を兼務配置）</p> <p>（担当地域） 開西・西帯広地区</p>	<p>（第2層生活コーディネート業務）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域資源及び地域ニーズの現状把握と課題分析の実施（自主サークル活動等へ参加） ・第1層生活支援コーディネーター（真宗協会に配置）との協議と連携を実施 ・包括支援センター愛仁園の勉強会や事例検討会・地域ケア会議等へ出席 ・周知や普及啓発活動及び体制整備のための協議体との打ち合わせを実施 ・あいじえん西帯広見守り隊タウンミーティングを実施（2回実施・住民延55名参加） ・ながら見守り隊通信を発行
---	---

● 認知症支援業務

・普及啓発及び予防対策等の推進

グループホーム等運営推進会議の参加協力	・会議等出席（書面含め30回） 参加者数（延188人）
認知症高齢者等搜索模擬訓練実施	（新型コロナウイルスの影響により中止）
認知症出前講座の実施	・出前講座（2回） 参加者数（延30人）
認知症サポーター養成講座の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・圏域内の小中学校 11校（児童326人・生徒452人） ・職域や地域 1回（延24人）
認知症カフェ（なんもなんもカフェ）開催	（新型コロナウイルスの影響により中止）
認知症家族の会茶話会参加協力	・茶話会（3回） 参加者数（延43人）

・医療及び介護との連携

相談件数 90 件	<ul style="list-style-type: none"> ・担当圏域の圏域窓口病院からの相談 （13件） ・担当圏域以外の圏域窓口病院からの相談 （44件） ・圏域窓口病院以外の医療機関からの相談 （26件） ・ケアマネジャーからの相談 （7件）
-----------	---

● その他の関連業務

地域包括支援センター業務等の説明	・説明会（3回） 参加者数（延60人）
介護予防・出前講座の開催	・出前講座（20回） 参加者数（延111人）
活きいき元気塾の開催	・包括独自企画（消費者被害防止セミナー 1回） 参加者数（11人）
帯広市家族介護者リフレッシュ事業	・北海道ホテル食事会（参加者15人）
実習生等の受入	・社会福祉士実習 ～ 名寄市立大学 学生1人 ・日本福祉大学 学生1人

4 資金収支決算等に関する報告（総括）

令和3年度の資金収支については、3年ごとに見直される介護報酬の基本単価改定により平均で0.7%のプラス改定となったことで当初予算においては介護保険事業収入を前年度予算より若干の増額を見込むと共に支出においても必要とする経費や実績等を勘案しながら人件費や事業費、施設の運営や維持管理等の事務費のほか施設整備等に要する予算を組み資金の適正な執行や管理に加え収支のバランス等にも意を用いながら法人経営を進めてきた。

その結果、経常的な収支である事業活動収支の決算ではコロナ禍が続く状況のなか施設等の利用や稼働状況への影響も少なく済み概ね順調に推移できたことで法人収入の基盤である介護保険事業収入では、前年度より約 6,800 千円の増額となり事業活動収入全体では 6,565 千円増の 1,220,840 千円の収入となった。

一方、事業活動支出のうち人件費については、職員の確保と共に職員の定期昇給や賞与等の支給に加え介護職員処遇改善手当や特定処遇改善手当の支給など給与規程や国の基準に基づきながら職員の待遇改善等を図ってきたほか、退職に伴う補充者の採用等も速やかに実施してきたが依然として厳しい求人状況であったことや採用月のズレなどから支出額では前年度より 5,900 千円ほど減少し総額 807,648 千円となった。

事業費では、介護サービスに係る直接的な経費として例年通り衛生用品等の購入や給食の食材費等必要な経費の適正な執行に努めたほか、当初予算において一部事務費と重複する支出科目を調整したことで前年度より 1,361 千円ほどの支出増となり総額で 225,926 千円の支出額となった。

事務費では、事業運営や施設の維持管理等に係る経費として給食や清掃・警備等の業務委託費のほか光熱水費や施設の維持・修繕等の経常経費、愛仁園の外壁等大規模修繕工事等に係る臨時的経費等により 200,714 千円の支出額となり前年度に実施した普仁園の外壁修繕工事費との違いや経費の節減等により 9,726 千円の支出減となった。さらに、利用者負担軽減額や支払利息支出を含めた事業活動収支全体では前年度より 13,766 千円減の 1,245,276 千円となり収支差としては 24,436 千円のマイナスであったが前年度より 20,331 千円ほどマイナス額が減少した。

事業活動収支以外では、施設整備等による収支において地域密着型施設の借入金元金の償還 8,544 千円に加え補助金を活用した見守りセンサー付き電動ベッド等の導入や備品等の購入など固定資産取得費が 4,864 千円となったことにより収支差額は 12,958 千円のマイナスとなったが補助金収入の 450 千円もあり前年度より 1,935 千円ほどマイナス額が減少した。

また、その他の活動収支においては退職者の退職金に係る北海道民間社会福祉事業職員共済会からの退職給付取崩収入 8,018 千円のほか備品等の購入や大規模修繕工事に係る施設整備等の費用に充てるための積立金取崩収入 45,206 千円さらに火災保険料の長期前払費用に係るその他の収入 487 千円を合わせ 53,711 千円の収入となった。支出では帯広大谷短期大学の学生への奨学金 300 千円をはじめ職員の退職給付等に係る共済会への積立金支出 14,339 千円を含めその収支差額は前年度より 45,857 千円増のプラス 39,071 千円となった。

結果、法人全体における当期決算の資金収支差額はプラス 1,676 千円となり前年度の 66,447 千円のマイナスから平成29年度以来のプラス決算となった。また、前期末の資金残額を合わせた資金の当期末支払資金残高が 233,591 千円となり事業運営に必要な運転資金についても事業活動支出の2・3カ月程度となる額を例年確保してきており本年度においても2億円を超える資金残高を確保することができ安定した経営を維持することができた。しかしながら、備品購入や施設整備等の積立金を取崩してきたことから今後とも2億円を超える資金残高の確保と安定的で持続可能な経営を図る上からも経費の見直しや適正な執行管理に努めると共に積立金の増額などができる方策等が課題となってきた。

(1) 資金収支決算の概要等

① 令和3年度決算額（前年度決算比較）

（単位：円）

科目・予算額	令和3年度決算額	令和2年度決算額	前年度対比増減	主な科目の決算額等
事業活動収入 (予算) 1,238,605,000	1,220,840,032 (予算対比) △17,764,968	1,214,274,901	6,565,131	・介護保険事業収入 1,038,750,852 円 (包括・帯広市委託料 48,298,000 円) (利用者負担軽減助成金 3,983,497 円) ・措置費収入 178,583,437 円 ・寄付金 180,000 円 ・その他の収入等 3,325,743 円
事業活動支出 (予算) 1,243,446,000	1,245,276,623 (予算対比) 1,830,623	1,259,043,161	△13,766,538	・人件費 807,648,014 円 ・事業費 225,926,493 円 ・事務費 200,714,713 円 ・利用者負担軽減額 8,024,241 円 ・支払利息支出 2,963,162 円
事業活動 収支差額 ①	△ 24,436,591	△ 44,768,260	20,331,669	
施設整備等収入 (予算) 3,705,000	450,000 (予算対比) △3,255,000	10,270,000	△9,820,000	・施設整備等補助金収入 450,000 円
施設整備等支出 (予算) 29,496,000	13,408,760 (予算対比) △16,087,240	25,163,900	△11,755,140	・借入金元金償還支出 8,544,000 円 ・固定資産取得支出 4,864,760 円
施設整備等 収支差額 ②	△ 12,958,760	△ 14,893,900	1,935,140	
その他活動収入 (予算) 45,785,000	53,711,179 (予算対比) 7,926,179	34,856,617	18,854,562	退職給付引当資産取崩 8,018,010 円 備品等購入積立資産取崩 17,991,000 円 施設整備積立資産取崩 27,215,000 円 その他の収入 487,169 円
その他活動支出 (予算) 15,153,000	14,639,335 (予算対比) △513,665	41,642,140	△27,002,805	長期貸付金 300,000 円 退職給付引当資産支出 14,339,335 円
その他活動 収支差額 ③	39,071,844	△ 6,785,523	45,857,367	
当期資金収支差 ①+②+③ (A)	1,676,493	△ 66,447,683	68,124,176	

● 当期末支払資金残高 233,591,142 円

・当期資金収支差額 1,676,493 円 + 前期末支払資金残高 231,914,649 円

② 人件費の決算内訳

役員等報酬	職員給料	職員賞与	非常勤等給料	退職金・掛金	法定福利	人件費合計
2,780,000	493,422,188	126,310,194	58,026,466	24,263,290	102,845,876	807,648,014 円

・退職金 8,198,790 円（道民間共済会等より同額収入）

③ 低所得者等に対する利用者負担軽減（介護サービス費・食費・居住費）

収支区分	普仁園	愛仁園	デイサービス	西帯広	あもる	合 計
負担軽減額	199,133 円	4,757,543 円	584,240 円	1,719,148 円	764,177 円	8,024,241 円
助成金交付額	140,643 円	2,268,888 円	370,849 円	664,000 円	539,117 円	3,983,497 円
法人負担額	58,490 円	2,488,655 円	213,391 円	1,055,148 円	225,060 円	4,040,744 円

・助成金交付額 ～ 帯広市 3,903,001 円 ・音更町・幕別町・浦幌町・別海町（愛仁園分）80,496 円

④ 寄附金等の受納

寄附金 180 千円	・普仁園1件 100 千円 ・西帯広1件 80 千円
寄附物品（5個人4団体）	・車椅子・シルバーカー・パジャマ・携帯用トイレ・甘夏ミカン・ヨーグルト・栄養補給剤 ・経管栄養剤・介助型車椅子・法話カレンダー・トイレットペーパー・ウエス用タオル

⑤ 主な業務委託経費

● 給食業務委託 ～（株）エムズフード

R3年度	養護・普仁園	特養・愛仁園	デイサービス	西帯広	あもる	合計（円）
食材費	28,984,410	29,044,331	3,083,934	8,210,812	2,128,500	71,451,987
管理費	23,707,200	23,707,200	4,725,600	5,540,040	1,719,960	59,400,000
給食数	108,480	109,433	10,256	31,049	7,724	266,942

・食材費（事業費支出） 1食単価～ 朝食 180 円 ・昼食 270 円 ・夕食 270 円

・管理費（事務費支出） 月額単価～ 普仁園・愛仁園・デイ 3,950 千円 ・西帯広・あもる 550 千円

● 夜間警備業務委託

委託費 8,015,040 円	帯広ビル管理（株）～ 普仁園・愛仁園 3,828,000 円 ・西帯広 4,187,040 円
-----------------	---

● 清掃業務委託

委託費 11,217,243 円	（有）サンビルサービス ～ 普仁園・愛仁園 9,495,464 円
	（株）ノアビルサービス ～ デイ・居宅・包括 818,400 円
	就労支援事業所（株）大作 ～ 西帯広・あもる・包括西 903,379 円

● 洗濯等集配業務委託

委託費 11,645,810 円	ワタキューセイモア（株）～ 普仁園・愛仁園 6,600,000 円（洗濯等業務） （上記の外～おしぼり・バスタオル・カーテン・寝具等のリース経費）5,045,810 円
------------------	---

● 暖房・空調設備点検業務委託

委託費 2,376,000 円	フジ暖房工業（株）～ 普仁園・愛仁園 2,376,000 円
-----------------	--------------------------------

⑥ 工事及び固定資産等取得と特定財源

● 大規模修繕工事

(工事名)	(契約)	(契約先)	(契約金額)
愛仁園外壁塗装・屋上パラペット等修繕工事	指名競争入札(3社)	宮坂建設工業(株)	16,280,000 円

● 固定資産等の取得

取 得 品 目 等	契約方法	契約・取得先	取得額
(構築物) ・カーポート設置 1基(西帯広)	随意契約	(株) 曾 我	876,700 円
(車両運搬具) ・送迎車(リース買取り) 1台(ディサービス)	随意契約	帯広日産自動車(株)	220,260 円
(器具及び備品) ・給食用立体炊飯器 1台(愛仁園)	随意契約	北沢産業(株)	(3,767,800 円) 569,800 円
・玄関ホールエアコン 1台(ディサービス)	随意契約	川岸電設(株)	550,000 円
・入浴キャリー 1台(西帯広)	随意契約	エア・ウォーターハローサポート	928,700 円
・食器洗浄機 1台(ディサービス)	随意契約	寿ホームエンジニアリング(株)	374,000 円
・ブレンダー(耐熱ミキサー) 1台(普仁園)	随意契約	北沢産業(株)	105,600 円
・屋外用灯油ヒーター 1台(普仁園)	随意契約	エア・ウォーターライフサポート	117,700 円
・見守りセンサー付電動ベッド 3台(普仁園)	随意契約	ワタキューセイモア	990,000 円
・洗濯機 1台(普仁園)	随意契約	(株) ハラデンキ	132,000 円
固定資産等取得合計			4,864,760 円

● 特定財源等

特 定 財 源	財 源 額	特定財源の充当対象経費等
施設整備等補助金収入	(道補助金) 450,000 円	・見守りセンサー付き電動ベッド 3台 990,000 円 (介護ロボット導入支援事業補助金) 対象事業費(消費税を除く) 900 千円 補助率 1/2
施設整備積立金取崩収入	27,215,000 円	・外壁塗装屋上パラペット等修繕工事費 16,280,000 円 ・カーポート設置費 876,700 円 (充当額計 24,511,640 円)
備品等購入積立金取崩収入	17,991,000 円	・車両取得費 220,260 円 ・器具備品取得費 3,317,800 円(3767800 円のうち道補助金 450,000 円を除いた額) (充当額計 3,538,060 円)

⑦ 施設整備借入金

借入年度	対象施設	借入先・金額	利率・償還方法	R3年度償還額	備 考
平成 25 年度 (H26.2.7)	地域密着型(特養) あいじえん西帯広 小規模多機能あもる 地域包括愛仁園(西)	福祉医療機構 ・設置整備資金 240,000 千円	償還期間 ・30 年 元金均等償還 ・2 年据置 償還利率 ・年 1.55% 最終償還 ・2044 年 1 月	元金 8,544,000 円 利息 2,963,162 円 (合計 11,507,162 円) (前年度末残 195,088 千円) 本年度末残 186,544 千円	自己資金償還

(2) 年度末資金残高

① 運転資金残高

- 普通預金（道銀） 127,513,697 円 （前年度末 128,805,539 円）

法人本部	普仁園	愛仁園	デイ	西帯広	あもる	居宅介護	地域包括
6,120,720	39,129,109	39,202,090	5,050,088	10,490,103	5,337,900	1,684,977	20,498,710

② 積立金残高

- 定期預金（道銀） 54,794,000 円

積立金種別	前年度末積立金額	令和3年度取崩額	令和3年度積立額	令和3年度末残高
備品等購入積立金	40,000,000 円	17,991,000 円	0 円	22,009,000 円
施設整備積立金	60,000,000 円	27,215,000 円	0 円	32,785,000 円
積立金合計	100,000,000 円	45,206,000 円	0 円	54,794,000 円

(3) 社会福祉充実計画の策定等

① 社会福祉充実残額と社会福祉充実計画

- 社会福祉充実残額の算定

社会福祉充実残額 (1万円未満切り捨て)	(活用可能な財産 — 事業継続に必要な財産) ・事業継続に必要な財産(社会福祉法に基づく事業に活用している不動産+再取得に必要な財産+必要な運転資金)
△1,029,570 千円	(活用可能な財産 761,478 千円) (事業に活用している不動産等 479,630 千円 ・再取得に必要な財産 1,000,101 千円 ・必要な運転資金 311,319 千円) (差引 △1,029,572 千円)

- ・平成 28 年改正の社会福祉法により毎会計年度その保有する財産について事業継続に必要な財産を控除したうえ再投下可能な財産(社会福祉充実残額)を算定。
1 万円以上の充実残額が生じる場合は社会福祉充実計画を策定し地域の福祉ニーズ等を踏まえ再投下が義務化

- 社会福祉充実計画の策定 ～ 充実残額がマイナスのため策定は不要